さいたま緑の森博物館ニュースレターは、みどり森の様々な情報を年４回お届けいたします

さいたま緑の森博物館 ニュースレター はくぶつかんだより No.41

Saitama Midori-no-mori Nature Park

～新たな5年間に向けて～

私たちが指定管理者として、さいたま緑の森博物館の運営に携わってから、おかげさまで10年が経過しました。10年間で多くのイベントを実施してきましたが、最初は小学生だった参加者が成人を迎えていたり、時の流れを感じます。

新たな5年間も、より多くの方にみどり森へ足を運んでいただき、身近な自然・里山の良さや楽しさを知っていただくために活動していきたいと思います。

また、今年度から新たに、みどり森の里山を守るイベント「みどり森お助け隊」も実施予定です。ここに生息する多くの生きものと来訪される皆さんにとっても大切な場所であり続けるために、皆さんの力も借りながら、里山を守る活動をしていきたいと考えています。是非とも多くの方々のご参加を、スタッフ一同お待ちしています！

イベント情報（4～6月）

電話（04-2934-4396）で博物館までご連絡ください。
また、当館ホームページからもお申し込みできます。

イベント名	実施日	対象、定員等	概要	申込期間
食育体験教室 田んぼでお米を作ろう！ ※実施予定日（全7回）：①5/9 ②5/30 ③7/4 ④8/1 ⑤9/5 ⑥10/3 ⑦10/24 全て日曜日	5/9（日）～ 10:00～15:00	時　間：10:00～15:00 対　象：小学生以上（小学生は保護者と参加） ※全7回参加できる方、欠席要相談 定　員：50名（先着） 参加費：4,500円（全7回分）	昔ながらの谷戸田で、お米を育てるところから食べるまでの過程を体験する全7回のプログラムです。	4/1(木)～
みどり森お助け隊 「外来植物の抜き取り作業」	5/16（日） 10:00～12:00	対　象：小学生以上（小学生は保護者と参加） 定　員：10名（先着） 参加費：100円（保険代）	気軽に参加できる、里山の手入れボランティア体験です。今回は外来植物を抜き取ります。	4/16(金)～
里山ようちえん【オタマ組】	6/2（水） 10:00～13:30	対　象：R3年4/1時点で 【オタマ組】満2・3歳児と親御さん 【カエル組】満4・5歳児と親御さん 定　員：10名（抽選） 参加費：親子2名で1,000円、1名追加ごと500円	子どもの成長段階や好奇心に合わせながら、親子で里山の自然の中で遊びます。お弁当持参、お茶とお菓子付き。	5/2(日)～15(土)
里山ようちえん【カエル組】	6/5（土） 10:00～13:30			5/5(水)～18(火)
大人の自然観察会 「みどり森のカタツムリ」	6/12（土） 9:30～12:00	対　象：中学生以上 定　員：10名（抽選） 参加費：100円（保険代）	身近な種や森に住む極小サイズのカタツムリなどをじっくりルーペで観察します。	5/12(水)～25(火)
泊まらない子どもキャンプ 「里山の力で1日すごそう！」	① 7/29（木） ② 8/4（水） 10:00～20:00	対　象：小学3～6年生 定　員：各回10名（抽選） 参加費：2000円 ※保護者の送迎が必要	みんなで協力して、ベースキャンプを作ったり、煮炊きをしたりして真っ暗になるまで過ごします。	6/1(火)～7/3(土)

★新型コロナウイルス感染症対策によるイベント対応について

各種イベントは、感染症対策のため定員を当初の予定より減らした上、内容の調整を行い実施しております。その他、変更等がある場合がある場合には、当館ホームページにてご案内いたします。
また、当館スタッフも感染症対策に努めますが、イベントに参加される際は、ご自身でも感染症対策（マスク着用、手洗い、参加前の検温、消毒等）をお願いいたします。感染防止のための対策に、ご理解ご協力をお願い致します。

みどり森スタッフの“四方山（よもやま）話”

さいたま緑の森博物館（通称：みどり森）のスタッフによる四方山話のコーナー。みどり森で起こった出来事や面白いこと、ビックリしたことなどを、各号スタッフが持ち回りでお届けします。

「タヌキに会えたら行動を観察してみよう」　＜インタープリター　おっち＞

みどり森には、多くの生きものが生息しています。その中でも哺乳類は、夜行性だったり、行動範囲が広かったりするため観察が難しい生き物です。そんな中でもタヌキは来館者に目撃されたり、園路に「ため糞場」を作っていたりと、みどり森でも最も身近な野生の哺乳類です。

私「おっち」は、みどり森スタッフの中でもタヌキに遭遇する確率が高いです。ある時はため糞場で踏ん張っている姿を見たり、ある時は陽だまりで日向ぼっこをしているのを見たりと、様々な姿を目にします。ある日、展示室の扉を開けて目の前にタヌキがいた時はお互いビックリ！タヌキが驚いてつまずきながら逃げていく姿は、とても可愛らしかったです。動物たちを観察すると、行動の意図は見て取れることが多いのですが、この時タヌキは何をしに展示室の前に来たのでしょうか。エサ探し？それとも日向ぼっこ？

みなさんもタヌキを見かけたら、何をしているのかなど、タヌキの行動を考えながら観察するとタヌキのことがもっとわかるかもしれません。

ただ、身近な存在ですが野生動物です。可愛いから、近づいてきたからといって餌をやったりせず、お互いのために ソーシャルディスタンスを保って観察してくださいね。

散策時の注意事項

園内に咲いている植物は、採取しないようお願いします。　特にこれから、たくさんの花が見ごろを迎えますが、採取されてしまうと種子ができず、植物が個体数を増やすことができなくなってしまいます。
いまだ、採取により年々減っている植物もありますので、大切に見守ってください。
散策・観察マナーにご協力をお願いいたします。

さいたま緑の森博物館　利用案内

狭山丘陵の北西部に位置する、里山の自然そのものを展示とした野外博物館です。

HP https://saitama-midorinomori.jp/
※ QRコードから開けます

開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜日（祝日の場合は開館し翌日が休館）祝日の翌日、年末年始

所在地 埼玉県入間市宮寺889-1

電話･FAX 04-2934-4396

アクセス 公共交通機関をご利用の場合、
小手指駅南口より西武バス「宮寺西」行きまたは「金子駅入口」行き乗車､約25分
「荻原バス停」下車、徒歩約10分
※駐車スペースに限りがありますの電車・バスをご利用ください。

緑の森博物館の 利用ルール

緑の森博物館では、以下の8つのルールを守って楽しく過ごしていただくようにお願いしています。

- ❶ 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生きものをむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- ❷ 他から持ち込んだ動植物（外来種）を放さないでください。
- ❸ 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- ❹ 犬などのペットを放さないでください。（フンの後始末もしっかりと行いましょう）
- ❺ 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- ❻ バーベキューや花火など火を使わないでください。
- ❼ ゴミは持ち帰りましょう。
- ❽ ラジコンやドローンは使わないでください。

2021年4月発行　　さいたま緑の森博物館　指定管理者：株式会社自然教育研究センター

今年はどうなる？

キアシドクガの大発生⁉

ここ数年みどり森で、春に「キアシドクガ」という虫が大発生し、ミズキの木を丸坊主にしてしまいます。たくさんの幼虫が歩く時期やたくさんの成虫が飛ぶ時期になると「あの虫は？」という質問をよく来館者の方から受けます。そこで今回はどのような生きものなのかをご紹介します。

【キアシドクガの生態】

全国に分布し、春から夏にかけて1回発生します。越冬は卵で行い、幼虫はミズキが主な食樹です。ドクガの仲間ですが、毒毛はないとされています。

【みどり森での大発生】

ここ数年大発生していると言いましたが、いつからなのか記録をさかのぼって調べてみました。
たくさんいることを確認したのは2015年5月27日あたりで、それから2016、17、18、19、20年と大発生が確認されています。
キアシドクガの研究報告を調べてみると、大発生は5年で収束すると言われているそうです。
みどり森では2015年から大発生していることから、昨年の2020年で5年が経ち、6年間続けて大発生しています。
今年2021年は、一体どうなるでしょうか？少しずつ減少していくのでしょうか？皆さんもチェックしてみてくださいね。

2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
	大発生	大発生	大発生	大発生	大発生	大発生	???

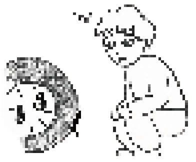
4月	5月	6月

木の模様かと思うほどついています。

木の下に立ち
耳を澄ますと
葉を食べる音が
ショリショリ…
糞が落ちる音が
パラパラ…と聞こえてきます。

たくさんいるのに、なぜか
子育てシーズンの鳥たちに
見向きもされない？
おいしくないのかな？
それとも多すぎて、
減っているように
見えない？

スタッフの車のタイヤに
蛹がついたことも…
そのままにしていましたが、
やはり羽化は
しませんでした。



ミズキの幹にたくさんの灰色の卵が産み付けられているのを確認することができます。
孵化の時、幼虫が卵に穴を開けて出てくるので
古い卵には穴があり、新しいものには穴がありません。

4月上旬、卵から幼虫が生まれてきます。
生まれた幼虫は枝先に移動し、芽吹いたばかりの柔らかい葉を食べて成長します。

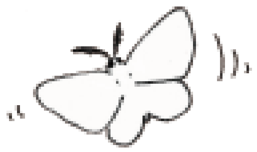
5月中旬になると、幼虫は蛹になります。
本来は葉を二つ折りにした中で蛹になるようですが
大発生しているとミズキに葉が残らないので
ミズキを降りて、近くの枝の裏や人工物である
柵や屋根などの裏で蛹になっています。

5月下旬になると、蛹から羽化し、日中の日が高い時間帯にミズキの周りをひらひらと飛び回ります。
その後、交尾が終わるとメスはミズキの幹に
たくさんの卵を産みます。

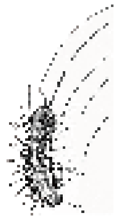
【キアシドクガ　Q&A】

来館者から受けた質問を紹介します。

Q.　たくさん飛んでいる白いチョウは何ですか？
A.　キアシドクガの成虫で、ミズキの木の周りを中心に昼間によく飛んでいます。
飛んでいる姿は幻想的で綺麗ですね。



Q.　食べられてしまった木は枯れないの？
A.　6月以降にもう一度葉を出すので、1年で枯れてしまうということは今までありませんでした。しかし、毎年食べられることにより、弱ってきている木も見受けられるので、今後枯れてしまう木が出てくるかもしれません。



Q.　ドクガと名前につくからかぶれたりするのでしょうか？
A.　図鑑等で、毒毛はないと言われています。
現にみどり森のスタッフ青野と小川は毛虫を触ってもかぶれることはありませんでした。

Q.　外来種ですか？
A.　いいえ、もともと日本全国に生息しています。
原因不明の大発生をすることは知られていて、
いくつか研究結果が報告されています。
急に今まで目につかなかった生きものが大発生すると
外来種じゃないかと思ったりしますよね。

Q.　何で大発生しているの？
A.　その理由は明らかにされていません…
是非、キアシドクガについて研究して大発生の理由を解明してみてください。

参考文献：　相模原市立博物館研究報告,（27）：35～39, Mar.31.2019　秋山幸也　　自然科学のとびら　第25巻3号　2019年9月15日発行　秋山幸也　　イモムシハンドブック２　2012年4月1日初版第1刷発行　安田守